

平成 29 年度年次報告のとりまとめ方法

科学技術・学術審議会 測地学分科会地震火山部会において、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」（以下、本計画）の推進について審議等実施しています。平成 29 年度の研究成果に関しても、同部会において取りまとめることになっています。同事務局が、東京大学地震研究所に設置されている地震・火山噴火予知研究協議会（以下、予知協議会）と緊密に連携しながら効率的にとりまとめ作業を行います。

成果管理システムを利用した報告書の提出

平成 29 年度年次報告の提出にあたり、前年度までと同様「成果管理システム」を利用する。課題の連絡担当者（課題担当者）が「成果管理システム」に web 接続し、パスワード認証後、必要な報告事項（テキスト、イメージファイル）をアップロードし、システム上で pdf ファイルを作成することで、報告書の提出を行う。年次報告事項は例年の通りである。システムは予知協議会によって設置され、測地学分科会事務局と共同で管理する。ただし各機関の代表者に、その機関における連絡担当者となっている研究課題・観測項目の一部情報管理を依頼する。

システムサーバの URL は次の通りである。

<http://yotikyo.eri.u-tokyo.ac.jp/h29/>

報告書提出に係る日程

- | | |
|-------------|---|
| 1 月下旬～2 月上旬 | 測地学分科会事務局より各機関に報告書提出の依頼 連絡担当者への ID/PW 発行とシステム案内の通知 |
| 2 月中旬～2 月下旬 | 報告書提出締め切り |
| 3 月 14～16 日 | 成果報告シンポジウムに利用 基本的には電子媒体での資料提供 |
| 4 月～5 月 | 平成 29 年度年次報告【機関別】としてとりまとめ |

平成 29 年度成果報告シンポジウム (案)

日程：平成 30 年 3 月 14 日 (水) ～3 月 16 日 (金)

会場：東京大学 武田先端知ビル 5F 武田ホール (浅野キャンパス)

主催：「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」成果報告シンポジウム実行委員会

共催：東京大学地震研究所，京都大学防災研究所，地震・火山噴火予知研究協議会 (予定)

後援：文部科学省，防災科学技術研究所，海洋研究開発機構，産業技術総合研究所地質調査総合センター，国土地理院，気象庁，海上保安庁，日本地震学会，日本火山学会，日本測地学会 (予定)

プログラム等詳細は地震・火山噴火予知研究協議会ホームページに掲載します。

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/>